

平成19年度 事務事業評価表	担当	企画部	企画広報課	内線等	
事務事業名	定例記者会見開催事業			事業コード	1. 一般事務事業（ソフト事業）
根拠法令等				Eなし	

総合計画での位置付け

基本目標	6. 市民とともに歩むまちづくり	施策名	広報・広聴
------	------------------	-----	-------

事務事業の内容

対象（受益者）	蒲郡市内外の市民に
手 段	新聞、映像（特にTV）などメディアに定期的に市政情報を提供することで
想定する成果	市政の周知を図る

事業の概要

項 目	平成18年度実績	平成19年度実績	平成20年度計画
年間開催回数	12回	13回	12回
年間議題数	55件	52件	48件
年間参加媒体数	84件	90件	156件
年間投込み記事数	702件	744件	700件

成果指標

成果指標名	1回あたりの情報提供数	1回あたりの出席媒体数
成果指標の説明	議題数 / 開催回数	出席媒体 / 開催回数

事業の進捗状況 （ 一般 会計 （単位：千円）

		平成18年度決算（実績）				平成19年度決算（実績）				平成20年度予算（計画）			
成果指標		4.6				4.0				4.0			
成果指標		7.0				6.9				13.0			
事業費	事業費	0				0				0			
	人件費	1,557				1,562				1,569			
	(人数)	正規	0.2	非常勤		正規	0.2	非常勤		正規	0.2	非常勤	
	合計	1,557				1,562				1,569			
財源内訳	国												
	県												
	市債												
	その他												
	一般財源	1,557				1,562				1,569			

事務事業内容の評価

項目	課内評価		部長評価		評価の説明(問題点)
	19評価	16評価	19評価	16評価	
達成度	2	2	2	2	提供した全ての情報が掲載されるわけではない。
経済効率性	3	3	3	3	経費をかけないで市の事業を周知できる。
事務効率性	3	2	3	2	メディアを一同に集めることにより、効率よく公平な情報提供ができる。
必要性	3	3	3	3	市内外に情報を発信する手段として必要。
小計	11	10	11	10	
施策への貢献度	3	-	3	-	広域的な情報周知が可能。
合計	14	10	14	10	

達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	A	A	A	A
------	---	---	---	---

総合評価は、A～Dまでの4段階評価

前回(H16評価時)「今後改善すべき点」として記載した内容及びその実施状況

前回(H16評価時に)記載した「今後改善すべき点」
市事業だけでなく、各課からの情報提供の呼びかけが必要であり、担当者も日ごろから情報をキャッチするアンテナを高くしておく必要がある
上記改善点の実施状況
広報主任者を各課に配置した。

今後さらに改善すべき点

記者から広報担当者に情報を求められる機会が多くあるが、その情報が伝わってこない。今一度、広報主任者の役割についての認識と、いつどういう風に記者にリリースするかを見極めるためのスキルアップが必要。

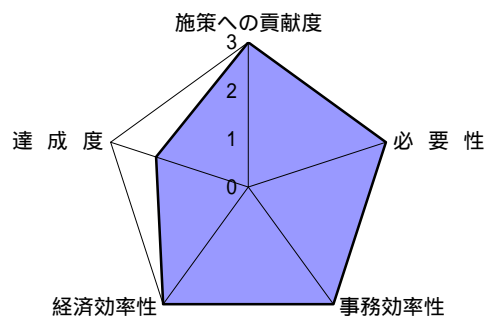
平成21年度予算に反映する項目

今後の方向性

拡大、充実

【各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載】

内部管理事務事業、義務的事業は必要性を、また施策名がその他のものは施策への貢献度を評価していません。



課内評価と部長評価の平均点